

社会科教育にかかわる現状と課題

部長 後藤孝一

1 社会科教育の動向

【上越地区】

上越市学校教育研究会の社会科部会では、地域素材の教材化の重要性や社会的な見方や考え方を養い、よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培うことの大切さを意識し、授業改善を図っている。児童生徒の興味・関心を高める地域素材の教材化について、授業公開と全会員の実践レポート紹介による実践的研究を進めてきた。

【中越地区】

見附市立見附小学校では、問題解決学習を基盤とし「子どもの問いが連続する授業」を推進している。子どもが社会事象と対峙し、わかったことから新たなわからなさへと問いが連続・発展していく指導を実践している。日々の授業記録を大切にし、板書、ノート指導が綿密な計画のもとで行われ、大きな成果を上げた。

【下越地区】

下越地区の各郡市小教研社会科部では、地域巡検等により、地域教材や教材になりうる素材を掘り起こしている。また、研究授業を通して、「資料をどう授業に生かすか、」「問題解決的な学習をどう展開するか」「子どもたちの追究意欲を高めていくための授業展開は」という点から研究を重ねている。そして、その研究成果を、各学校の日々の実践に生かせるように情報発信している。

【新潟市】

新潟市の市小研社会科部では、「社会的な思考力・判断力を育てる問題解決的な学習の展開の在り方～児童が何を調べ、何を思考・判断・表現していくか」を主題に授業研究を4回行った。今年度は授業研究のほかに、新学習指導要領本格実施に向けてこれまでの指導計画を改訂した。広域合併後の新潟市で活用できる『社会科指導計画』第9集を社会科部員全員の分担・協力のもとに作成した。

2 社会科教育の課題

- 社会的な事象に関する基礎的・基本的知識、概念や技能を確実に習得させ、それらを活用する力や探究する力を育成する観点から実践的研究を進める。
- コンピュータなども活用しながら、地図や統計など各種の資料から必要な情報を収集し読み取ること、社会的な事象の意味、意義を解釈すること、社会的な事象の特色や事象間の関連を説明すること、自分の考えを論述すること、表現することを一層重視する方向で授業改善を図る。
- 学習指導要領に新たに加わった内容や内容の取扱いについての教材の開発や資料の準備、集積を図る。